

「GREEN×EXPO 2027」に係る意見書を
横浜市町内会連合会（市連会）の会長から
市長が受領しました



横浜市町内会連合会（市連会）による「GREEN×EXPO 2027」に係る意見書を、
網代 宗四郎 会長から山中 竹春 横浜市長が受領しましたのでお知らせします。

- 1 日 時 令和6年3月29日（金） 10:00～10:10
- 2 場 所 横浜市庁舎8階 市長応接室
- 3 資 料 意見書 「GREEN×EXPO 2027」について
※詳細は別添のとおり

4 当日の様子



（左から：横浜市町内会連合会 馬場勝己副会長、網代宗四郎会長、山中市長、石川建治副会長）

※写真データを希望される場合は、お問合せ先（都市整備局）までご連絡ください。

お問合せ先

(GREEN×EXPO 2027 に関すること)	都市整備局国際園芸博覧会推進課担当課長
	河野 正樹 TEL:045-671-4832
(市連会に関すること)	市民局地域活動推進課長 小河内 協子 TEL:045-671-2298

令和6年3月29日

横浜市 長
山中 竹春 様

横浜市町内会連合会
会長 網代 宗四郎

「GREEN×EXPO2027」の成功に向けた機運醸成の取組の推進について

謹啓 桜花の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より地域における諸活動について、ご指導・ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、横浜市での初の国際博覧会となる国際園芸博覧会(GREEN×EXPO2027)の開催まで、あと3か年を切りました。GREEN×EXPO2027の成功のためには、開催地となる瀬谷区・旭区だけでなく、横浜市全体で博覧会の目指すものをしっかりと理解し、市民が博覧会を楽しみに待つことができることが必要と思っています。そのため、なるべく早い時期に、この博覧会の持つ意義や、博覧会そのものの概要、そして、横浜市民としてどのようなことがこの博覧会にむけてできるのか、といったことを市民に広く周知していただく必要があると感じたところです。

花・緑に囲まれながら、環境にやさしい未来の暮らし、最先端の脱炭素技術、自然や植物の持つ力など、広い意味で「GREEN」をテーマとする日本で初めての国際博覧会が横浜で開催されます。そこで、是非、次世代により良い環境を残すために私たちが何をすべきかを考える貴重な機会となるよう、横浜の未来を担う子ども達にGREEN×EXPO2027の意義をご理解いただき、参加を楽しみにしていただくことが必要と考えます。あわせて、地域において自然環境の保全などに取り組んでいただいている公園愛護会など様々な団体や、学校、商店街の皆様への説明も進めていただきたいと考えます。多くの市民に、気候変動に着目した環境をテーマとするGREEN×EXPO2027の意義が伝わり、横浜市全体での機運醸成が促進されるよう前向きな取組みをお願いします。また、GREEN×EXPO2027が、市民生活にどのように影響するのかをご心配されている方も安心して開催を楽しみにお待ちいただけるよう、丁寧な説明も必要と感じていますので、よろしくをお願いします。

横浜で初となる国際博覧会の成功に向けて、ともに取り組んでいければ幸いです。

謹白